

防衛大臣

小野寺五典様

## MV-22オスプレイの飛行等に関する要請

全国知事会では、昨年7月の緊急決議以降、MV-22オスプレイの安全性や飛行訓練による周辺住民への影響等について、政府が責任を持って、関係自治体及び地域住民に詳細に説明するとともに、全国各地で行われる飛行訓練等については、その具体的内容を明らかにし、関係自治体の意向を十分尊重して対応するよう重ねて強く求めてきたところである。

これに対し、政府は、関係する地域に対する説明を行ってきたものの、飛行ルートを含めその内容は十分とは言えず、誠に遺憾である。政府においては、MV-22オスプレイの運用について、自治体や国民の不安が払拭されていない状況が続いていることを再認識するべきである。

我々としても、安全保障の重要性は認識しており、併せて沖縄県の負担軽減を実現させていかなければならないことは承知しているが、一方で、住民生活の安全・安心を確保することも国や地方自治体の最大の使命である。

政府におかれては、飛行高度や区域等に関する日米合同委員会合意事項が遵守されるよう在日米軍に強く要請するとともに、訓練における飛行実態を広く開示することはもとより、その安全性や今後展開される運用全般の状況について、具体的内容を明確にしたうえで、関係自治体及び地域住民に対し事前に十分説明し、理解を得るよう一層努めることを改めて強く求める。

平成25年11月14日

全国知事会 会長

京都府知事 山田 啓二

全国知事会 総務常任委員会委員長

岐阜県知事 古田 肇